

2022年11月7日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 田辺 有輝

インド国パトナメトロ建設事業
(協力準備調査(有償))
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2022年10月28日(金) 14:00~17:58
- ・場所：オンラインおよびJICA本部(2階229会議室)
- ・ワーキンググループ委員：田辺委員、二宮委員、長谷川委員、米田委員
- ・議題：インド国パトナメトロ建設事業(協力準備調査(有償))に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 【DFR本文】インド国パトナメトロ建設事業(協力準備調査(有償)) DFR
 - 2) 【DFR添付資料】インド国パトナメトロ建設事業(協力準備調査(有償)) DFR
 - 3) 【EIA報告書】インド国パトナメトロ建設事業(協力準備調査(有償)) DFR
 - 4) 【SIA報告書(RAP)】インド国パトナメトロ建設事業(協力準備調査(有償)) DFR
 - 5) 【SC時助言対応表】インド国パトナメトロ建設事業(協力準備調査(有償)) DFR
 - 6) 【SC時回答表】インド国パトナメトロ建設事業(協力準備調査(有償)) SC案
 - 7) 回答表及び別添資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第142回委員会)

- ・日時：2022年11月7日(金) 13:58~17:26
- ・場所：オンラインおよびJICA本部(2階229会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 代替案検討での評価項目の重みづけについて、FR 作成に向け、可能な限り感度分析を試みること。

環境配慮

2. 気候変動への適応を考慮し、洪水予測については 100 年周期のオプションを優先的に検討するよう実施機関に働きかけること。
3. 本事業が影響を与える可能性のある Key Biodiversity Area (KBA) は鳥類の集団営巣地であることが重要生息地として評価されていることを念頭に、影響のモニタリング方法を再検討し、FR に記載すると共に、その実施を実施機関に申し入れること。
4. 建設中の工事時間は、規定された daytime (6:00-22:00) の時間内であっても、周辺住民の生活の質に配慮し、早朝、夜間の作業はできるだけ避け、実施する場合は、騒音、振動の緩和に十分配慮するよう実施機関に申し入れること。

社会配慮

5. 著しい所得格差や伝統的社会階層など、配慮すべき社会状況が存在する地域においては、多様な参加の機会が安全に確保されるよう、実施機関に申し入れること。
6. プロジェクトのインパクト評価のポジティブ、ネガティブの理由を可能な限り FR に記載すること。
7. 補償について一部の住民が合意に至っていないこと、すでに複数の訴訟も生じていることから、ガイドラインで求められた社会的合意や法令順守が適切に確保されるよう、十分な調整を図ることを実施機関に働きかけること。
8. 補償が支払われる前に 53 世帯の住民移転が行われていることから、JICA による意思決定（合意文書の締結）は、移転した住民に対する補償の支払いにかかる調整が開始され、支払いの努力が概ね尽くされていることを確認した後に行うこと。（注）
（注）ただし、一部の委員から、JICA による意思決定（合意文書の締結）は、移転した住民に対する補償支払いが開始された後に行うべきであるとの指摘があった。

ステークホルダー協議・情報公開

9. 女性の参加に関し、インド特有の制約要因を考慮し、女性の意見が得られやすい参加方法について、今回行った工夫や、今後行われるべき配慮について FR に記載すること。

以 上